

東広島市

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

調査実施期日

令和7年4月17日（木）

対象及び教科

小学校 6 学年全児童 国語、算数、理科

中学校 3 学年全生徒 国語、数学、理科

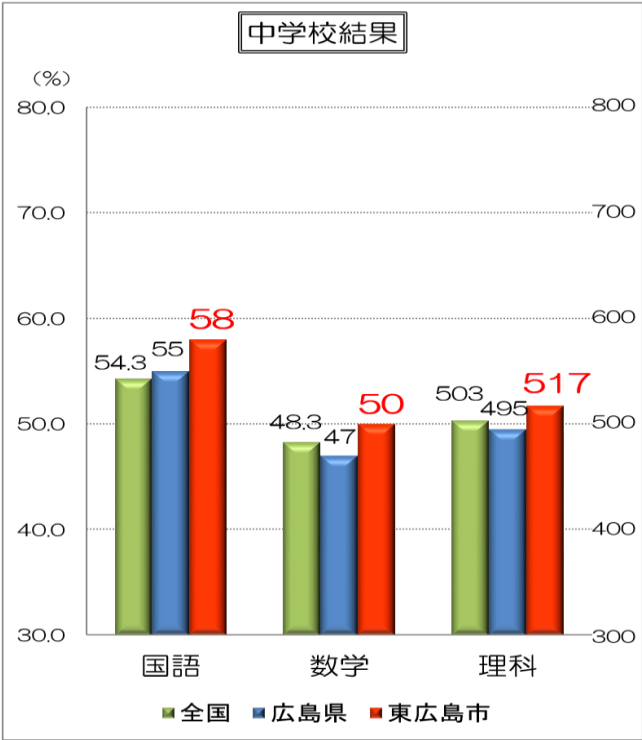
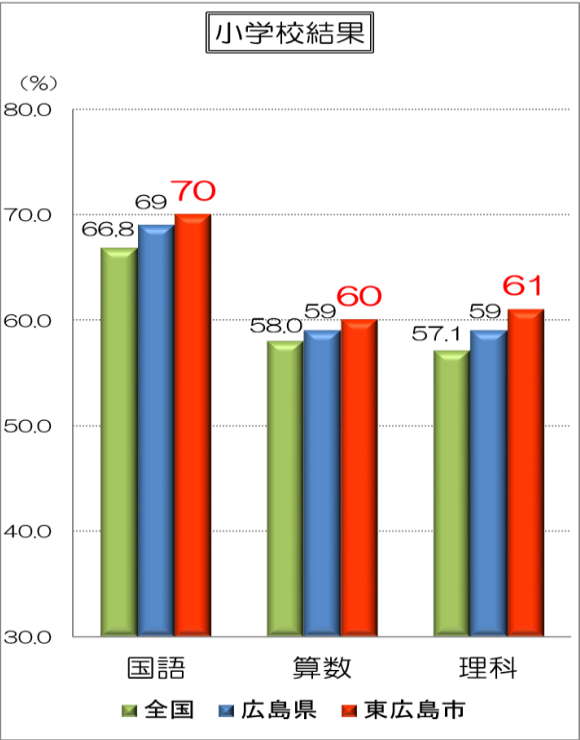
教科に関する調査の結果

（小学校結果及び中学校国語、数学は平均正答率 中学校理科は平均 I R T スコア）

校種	教科	東広島市	広島県（公立）	全国（公立）
小学校	国語	70	69	66.8
	算数	60	59	58.0
	理科	61	59	57.1
中学校	国語	58	55	54.3
	数学	50	47	48.3
	理科	517	495	503

○小学校は、国語、算数及び理科において、平均正答率が全国、広島県を上回っている。

○中学校は、国語、数学及び理科において、平均正答率及び平均 I R T スコアが全国、広島県を上回っている。



※ I R T スコアとは、項目反応理論に基づき、問題の難易度を踏まえて算出した値です。

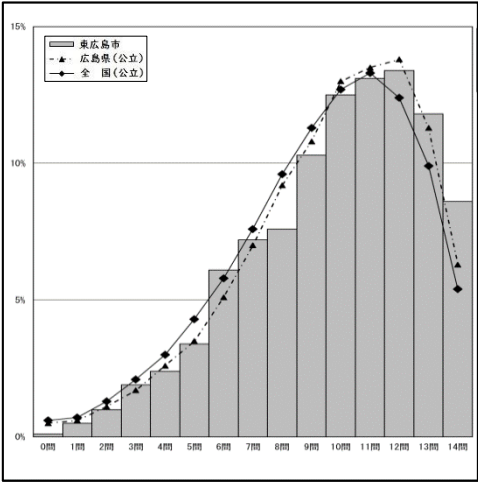
教科に関する調査結果

1 小学校 国語

結果の概要

全国の平均正答率が70％で、全国平均及び広島県平均を上回っている。内容別では、「情報の扱い方に関する事項」及び「我が国の言語文化に関する事項」は広島県よりも低く、「B 書くこと」は広島県と同程度である。その他の内容は全国及び広島県よりも高い。

＜正答数分布グラフ＞



＜内容別平均正答率＞

学習指導要領の内容	平均正答率（％）		
	東広島市	広島県	全国
全体	70	69	66.8
言葉の特徴や使い方に関する事項	80.3	79.4	76.9
情報の扱い方に関する事項	63.2	63.8	63.1
我が国の言語文化に関する事項	81.8	82.1	81.2
A 話すこと・聞くこと	69.7	68.9	66.3
B 書くこと	71.7	71.7	69.5
C 読むこと	62.5	59.6	57.5

正答率下位 2 問

- I 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題

（設問 3三（1）） 43.2％（全国40.8％、県41.3％）
- II 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる問題

（設問 3二（2）） 54.5％（全国51.3％、県52.6％）

授業改善のための方策

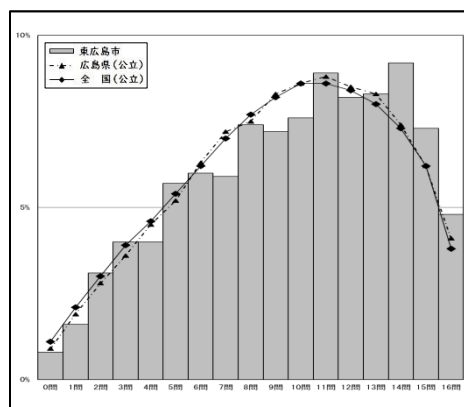
- 複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことが重要である。それぞれの資料にある語句や情報を丸や四角で囲んだり、線などでつないだりして、文章と資料の結び付きを視覚的に明らかにしながら読む指導を行う。
- 要旨を把握するためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、文章全体の構成を捉えることが重要である。書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄などを捉えることができるように指導する。

2 小学校 算数

結果の概要

全体の平均正答率は60％で、全国平均及び広島県平均を上回っている。領域別では、「C 測定」は広島県と同程度であるが、その他の領域では、全国及び広島県よりも高い。

<正答数分布グラフ>



<領域別平均正答率>

学習指導要領の領域	平均正答率（％）		
	東広島市	広島県	全国
全体	60	59	58.0
A 数と計算	63.8	63.0	62.3
B 図形	59.2	57.1	56.2
C 測定	55.3	55.3	54.8
C 変化と関係	57.7	57.5	57.5
D データの活用	65.2	63.5	62.6

正答率下位2問

I 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題

（設問 3（2））26.8％（全国23.0％、県23.9％）

II 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題

（設問 2（4））38.0％（全国37.0％、県37.4％）

授業改善のための方策

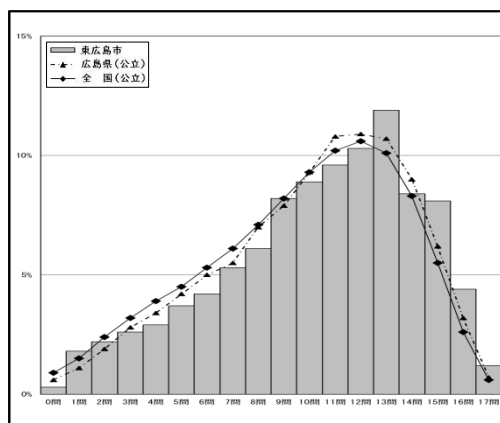
- 図や数直線を活用して加数と被加数の単位分数に着目させ、分母を揃える操作が「基にする数を揃える」ことであると視覚的に理解させる。さらにデジタル教材を用いて分数の変化を動的に提示し、児童が自ら操作することで通分の意味に気付かせ、共通の単位を見つければ、整数や小数の加法と同様に計算できることを捉えさせる指導を行う。
- 多角形を既習の基本図形に分割し、必要な長さを自分で見付ける力を育てる活動を取り入れる。その際に、補助線を引いたり、図を回転させたりして、面積の求め方を知っている基本図形に分割させる。面積を求めるために必要な長さを確認し、「どの長さが必要か」「なぜその長さを使うのか」を説明させる指導を行う。

3 小学校 理科

結果の概要

全体の平均正答率は61％で、全国平均及び広島県平均を上回っている。領域別では、全ての領域で、全国及び広島県よりも高い。

<正答数分布グラフ>



<領域別平均正答率>

学習指導要領の領域	平均正答率 (%)		
	東広島市	広島県	全国
全体	61	59	57.1
「エネルギー」を柱とする領域	50.2	47.3	46.7
「粒子」を柱とする領域	53.4	52.7	51.4
「生命」を柱とする領域	57.0	55.1	52.0
「地球」を柱とする領域	69.8	68.8	66.7

正答率下位2問

I 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題

(設問 2 (1)) 12.2％ (全国10.6％、県10.2％)

II レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題

(設問 3 (4)) 38.7％ (全国29.9％、県36.9％)

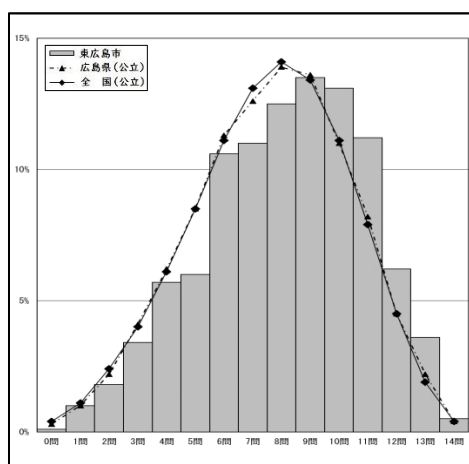
授業改善のための方策

- アルミニウム、鉄、銅のいずれかが電気を通さないと誤って捉えているため、身の回りの金属に共通する性質として、電気を通すという知識の定着を図る。そのため、実験・観察等を基に、自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、実感を伴った理解とするための指導を行う。
- 複数の自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだす学習場面を設定し、見いだした問題を文章で表現するなどの言語活動の充実を図ることで、変える条件と変えない条件を整理しながら解決方法を考えさせる指導を行う。

結果の概要

全体の平均正答率は58%で、全国平均及び広島県平均を上回っている。内容別では、全ての領域で、全国及び広島県よりも高い。

<正答数分布グラフ>



<内容別平均正答率>

学習指導要領の内容	平均正答率 (%)		
	東広島市	広島県	全国
全体	58	55	54.3
言葉の特徴や使い方に関する事項	52.3	48.0	48.1
情報の扱い方に関する事項			
我が国の言語文化に関する事項			
A 話すこと・聞くこと	56.8	53.5	53.2
B 書くこと	57.3	52.9	52.8
C 読むこと	64.0	63.0	62.3

正答率下位2問

I 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題

(設問 3 (四)) 20.0% (全国17.1%、県18.6%)

II 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題

(設問 2 (四)) 32.0% (全国23.2%、県25.2%)

授業改善のための方策

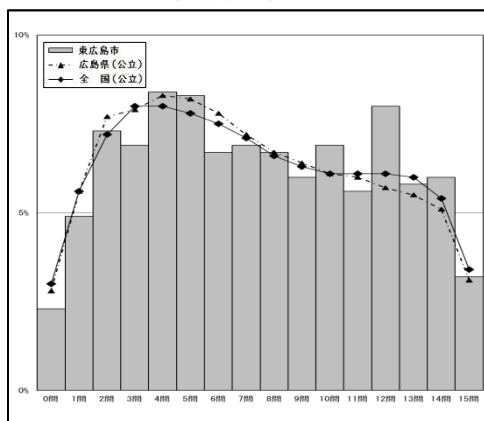
- その後の展開を予測しながら作品を読み、文章の構成や展開の効果について考える学習活動を設定する。その際、文章全体や部分における展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることができるよう指導を行う。
- 自分の伝えたい内容を踏まえ、話の要点や根拠が明らかになっているか、説明が不足していないか、中心となる事柄が強調されているかなど、自分の考えが聞き手に分かりやすく伝わっているかを確認し、スライドなどの資料や機器の効果的な使用について検討する場を設定する。例えば、話の内容が十分に踏まえられていないスライドの改善案を検討することで、伝えたい内容が効果的に伝わっているかを考える指導を行う。

5 中学校 数学

結果の概要

全体の平均正答率は50%で、全国平均及び広島県平均を上回っている。領域別では、「A 数と式」は全国よりも低いですが、その他の内容は全国及び広島県よりも高い。正答数分布グラフは、緩やかなふた山型になっている。

<正答数分布グラフ>



<領域別平均正答率>

学習指導要領の領域	平均正答率 (%)		
	東広島市	広島県	全国
全体	50	47	48.3
A 数と式	43.1	42.6	43.5
B 図形	47.2	45.2	46.5
C 関数	52.8	47.7	48.2
D データの活用	61.3	58.0	58.6

正答率下位2問

I 素数の意味を理解しているかどうかをみる問題

(設問 1) 24.6% (全国31.8%、県33.7%)

II 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題

(設問 6(2)) 26.8% (全国25.7%、県23.8%)

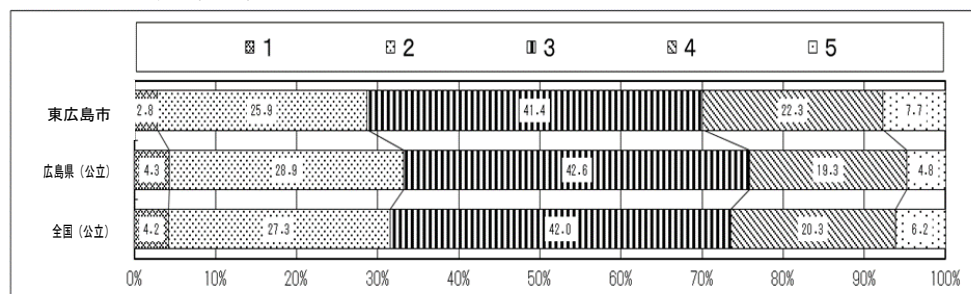
授業改善のための方策

- 数学用語を正しく理解させる指導を行う。また、素数については、素因数分解や $\sqrt{a}$ を $b\sqrt{c}$ の形に直す等の学習を通して、素数や整数の性質についての理解を深めることができるように繰り返し指導し、学び直しの機会を設定する。
- 文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導を行う。例えば、3の倍数を「 $3 \times (\text{整数})$ 」と表すことや奇数を「 $(\text{偶数}) + 1$ 」の形で表すことを指導する際に、形だけを指導するのではなく、生徒に考察させながら導き出させたり、なぜそのような形になるのか考察させたりすることで、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導する。

結果の概要

平均 I R T スコアが 5 1 7 で、全国平均及び広島県平均を上回っている。I R T バンド 4、5 の割合は、全国及び広島県より高く、1、2 の割合は、全国及び広島県よりも低い。

<IRT バンド分布比較>



<平均 IRT スコア>

東広島市	517
広島県	495
全国	503

※ I R T バンド…各生徒に対して出題された問題の正誤状況に基づき、総合的に推定されるもので、1～5 の 5 段階に区切ったもの。3 を基準とし、5 が最もスコアが高い。

正答率下位 2 問

I 【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる問題

(設問 2 (1)) 16.5% (全国 14.0%、県 13.6%)

II 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる問題

(設問 8 (2)) 17.0% (全国 18.1%、県 17.4%)

授業改善のための方策

- 目的意識や見通しをもたせて観察や実験を行う。例えば、観察、実験の結果から何が分かればよいのかを個人やグループなどで共有する学習場面を設定したり、比較して関係付ける対象を明確にして文章として表現する言語活動の充実を図ったりする。また、結果の考察をする際には、考えたことについて、自己の変容を振り返ることができる指導を行う。
- 離れた地点の幾つかの地層を比較し、地層の広がり方や傾きを空間的な視点で捉える学習場面を設定するなど、どのような見方を働かせるのかを明確にして指導を行う。また、ボーリング調査の結果が、ハザードマップ等の作成に活用されていることに触れるなど、学習内容と日常生活とのつながりに気付かせたり、自然の事象等に関心をもたせたりする指導を行う。

7 質問調査

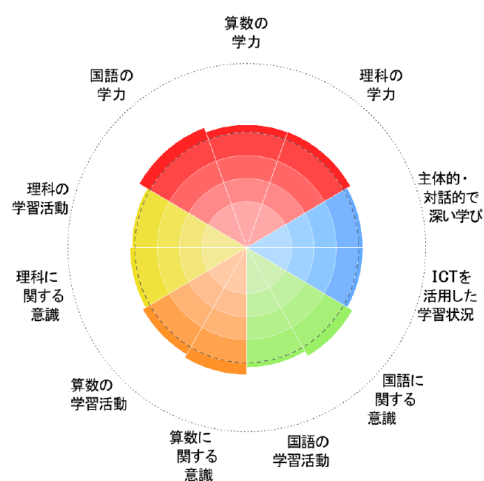
結果の概要

- 小学校、中学校ともに概ねバランスがとれている。
- ・小学校は、全ての領域で全国平均を上回っている。
- ・中学校は、特に生活習慣や「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」といった向社会性についての数値が高かった。しかし、「ICT を活用した学習状況」「国語の学習活動」など改善が必要な項目もある。

小学校

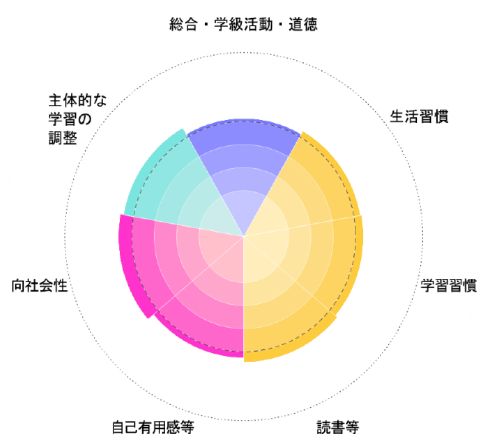
〔教科を中心とした学力・学習状況〕

(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕

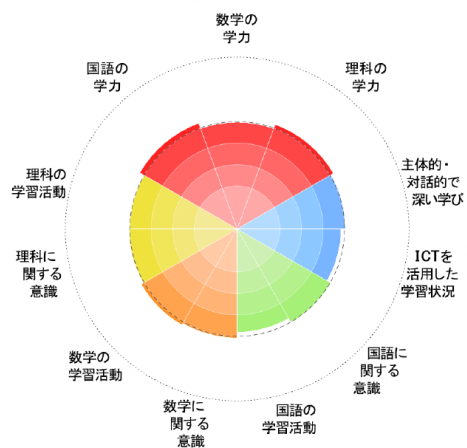
(全国基準)



中学校

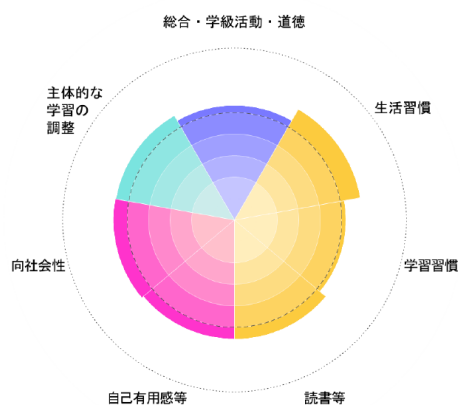
〔教科を中心とした学力・学習状況〕

(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕

(全国基準)



授業について

○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況

- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒の割合は、全国平均及び広島県平均より高い。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高い。
- 個別最適な学びになっていると感じていたり、協働的な学びに取り組んだと考えたりしている児童生徒ほど、各教科の正答率が高い。

主体的・対話的で深い学び

児童生徒質問 5年生までに（１、２年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校

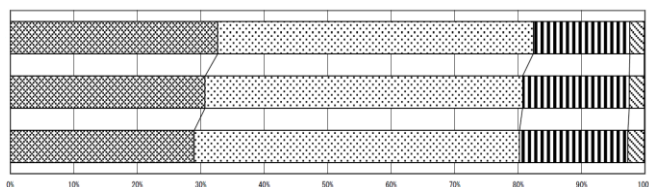
「当てはまる」 32.7%（全国比+3.7pt 広島県比+2pt）

肯定的回答 82.4%（全国比+2.1pt 広島県比+1.7pt）

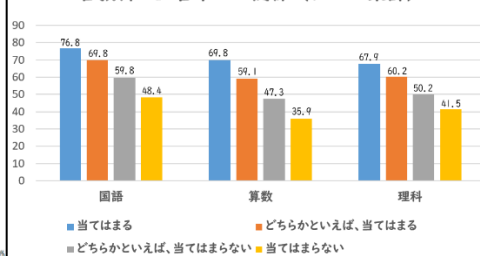
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



中学校

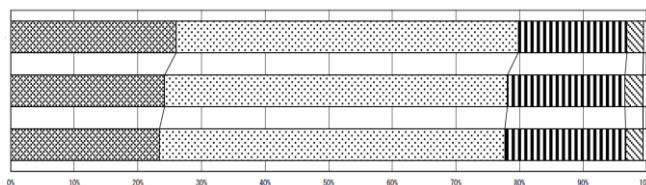
「当てはまる」 26.0%（全国比+2.6pt 広島県比+1.8pt）

肯定的回答 79.8%（全国比+2.1pt 広島県比+1.7pt）

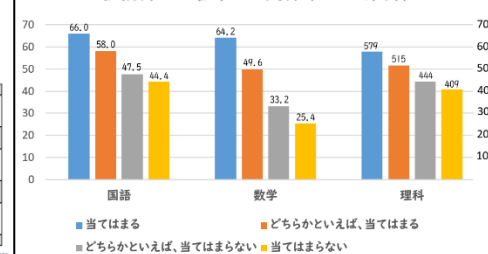
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



個別最適な学び

児童生徒質問 5年生までに（１、２年生のときに）受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

小学校

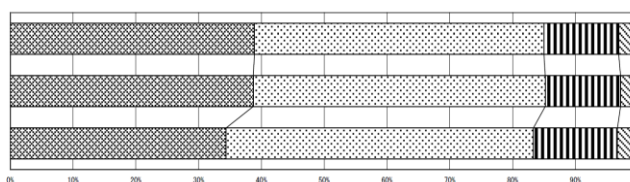
「当てはまる」 38.9%（全国比+4.5pt 広島県比+0.2pt）

肯定的回答 85.0%（全国比+1.6pt 広島県比-0.2pt）

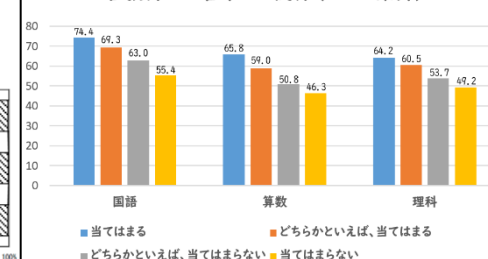
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



中学校

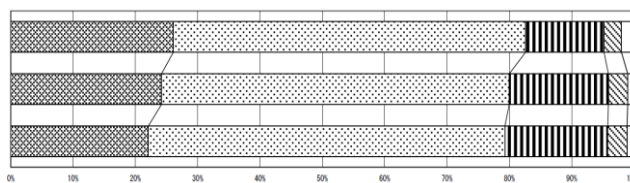
「当てはまる」 26.1%（全国比+4.0pt 広島県比+1.9pt）

肯定的回答 82.6%（全国比+3.3pt 広島県比+2.6pt）

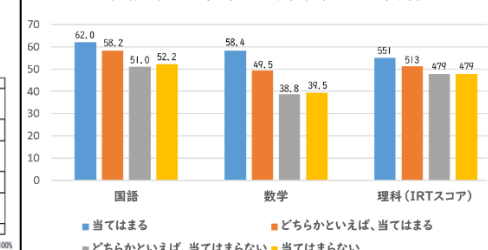
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



協働的な学び

児童生徒質問 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校

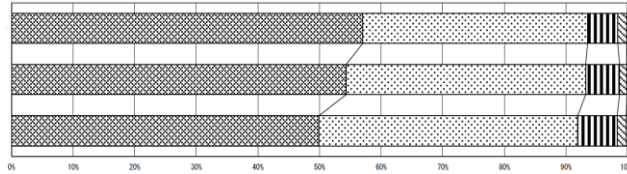
「当てはまる」 57.0% (全国比+7.1pt 広島県比+2.7pt)

肯定的回答 93.5% (全国比+1.6pt 広島県比+0.3pt)

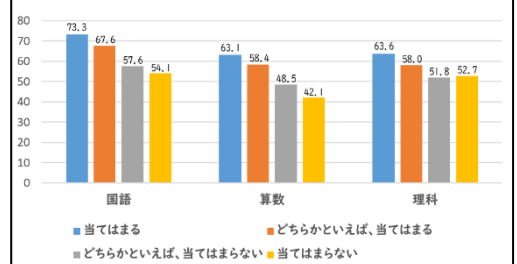
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係(クロス集計)



中学校

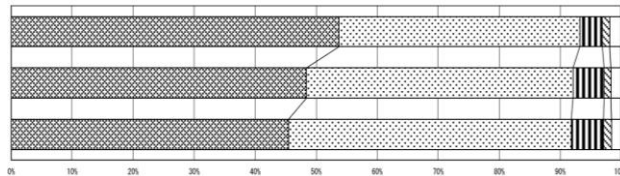
「当てはまる」 53.8% (全国比+8.3pt 広島県比+5.4pt)

肯定的回答 93.3% (全国比+1.4pt 広島県比+1.2pt)

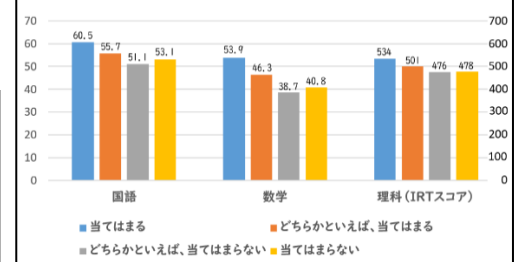
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係(クロス集計)



学習習慣について

○読書の時間や勉強時間の状況

○一日の読書時間が1時間以上の児童生徒の割合は、全国平均及び広島県平均より高いが、本市の経年変化でみると減少している。

○授業を除く平日の勉強時間が2時間以上の児童生徒の割合は、小学校は全国平均及び広島県平均より高い。中学校は、全国平均及び広島県平均よりも低い数値となっている。しかし、小中学校ともに、本市の経年変化でみると減少している。

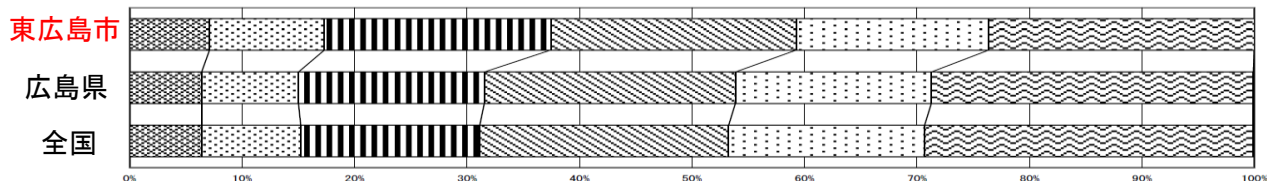
一日の読書時間（教科書等は除く）

児童生徒質問 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学校

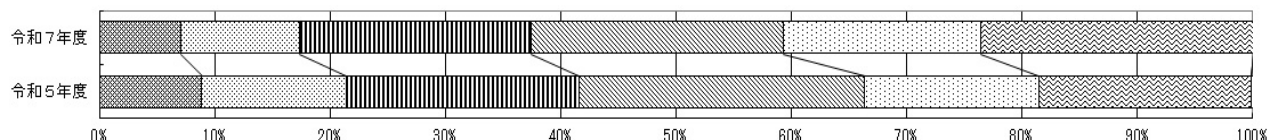
1時間以上 17.3%（全国比+2.1pt 広島県比+2.3pt） 10分未満 40.7%（全国比-5.9pt 広島県比-5.3pt）

■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



<経年変化> 1時間以上 17.3%（令和5年度 -4.1pt） 10分未満 40.7%（令和5年度 +7.1pt）

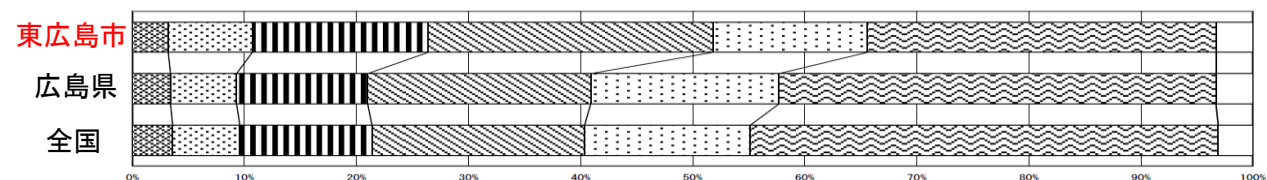
■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



中学校

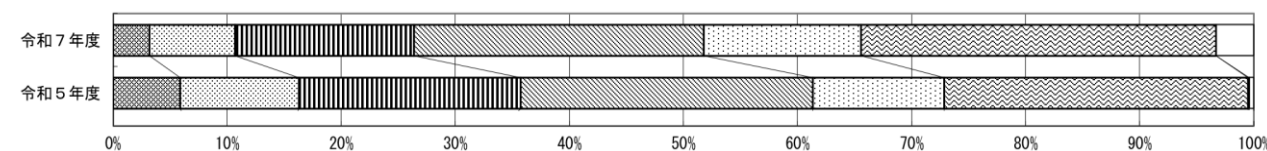
1時間以上 10.7%（全国比 +1.1pt 広島県比 +1.4pt） 10分未満 44.9%（全国比-11.7pt 広島県比-10.9pt）

■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



<経年変化> 1時間以上 10.7%（令和5年度 -5.6pt） 10分未満 44.9%（令和5年度 +6.8pt）

■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



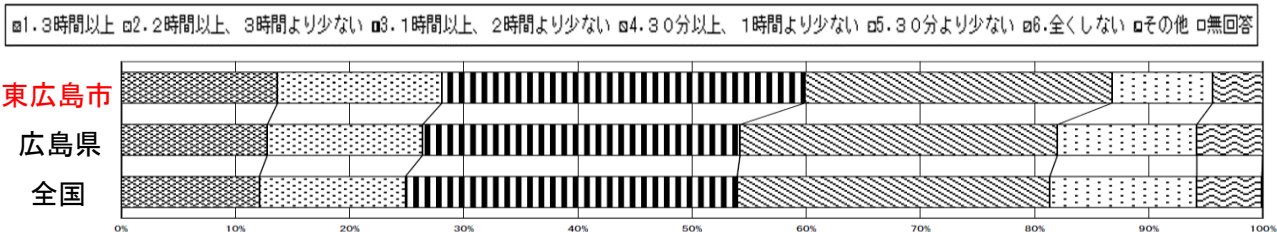
平日の勉強時間（授業時間を除く）

児童生徒質問

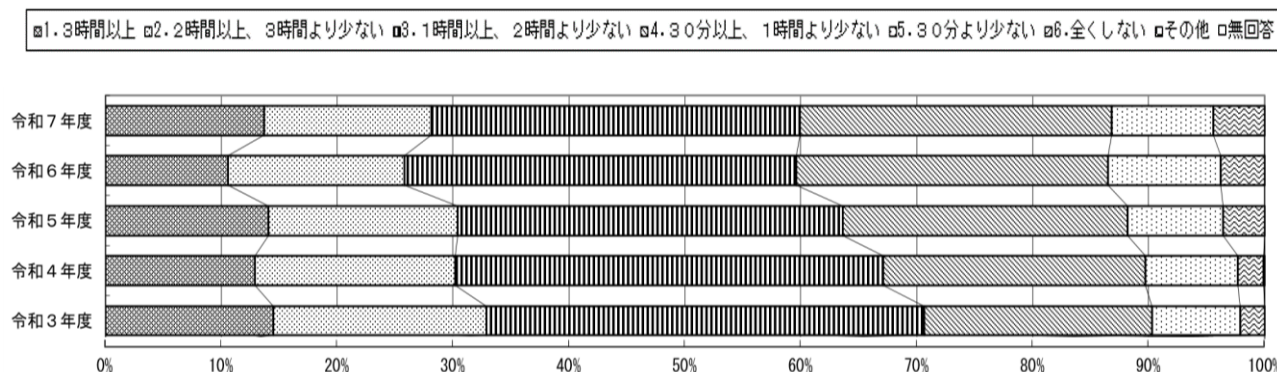
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

2時間以上 28.1%（全国比+3.2pt 広島県比+1.7pt） 30分未満 13.2%（全国比-5.4pt 広島県比-4.8pt）

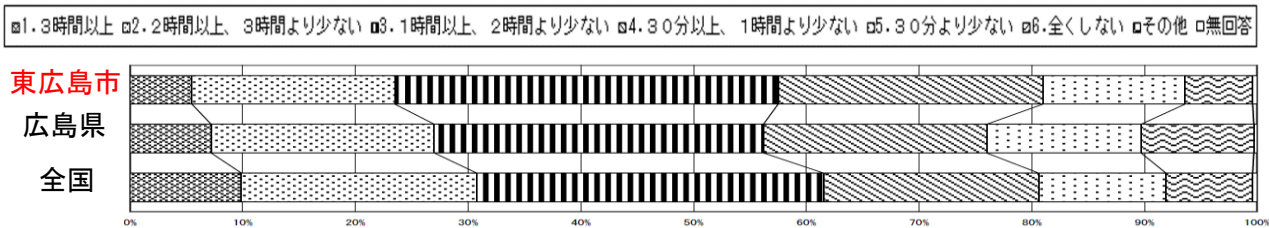


<経年変化> 2時間以上 28.1%（令和3年度 -4.8pt） 30分未満 13.2%（令和3年度 +3.5pt）



中学校

2時間以上 23.5%（全国比-7.3pt 広島県比-3.5pt） 30分未満 18.6%（全国比-0.4pt 広島県比-5.1pt）



<経年変化> 2時間以上 23.5%（令和3年度 -19.6pt） 30分未満 18.6%（令和3年度 +10.7pt）

